

※本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

(5月28日 定例総会)

挨拶

挨拶

会 長
三 浦 昭



ご紹介いただきました三浦でございます。会長の任期は2年ということで、あと1年、務めさせていただきます。

この1年、知財協の会長をやっておりまして、この知財の問題はメディアにもかなり登場し、特に、最近の職務発明の問題につきましては、いろいろな形で新聞あるいはテレビに取り上げられ、それを目の当りにしてまいりました。その中にありまして、国の知財戦略及びその推進計画にかかわる問題に対して、知財協としていろいろなコメントあるいは提言をし、活動を重ねてまいりました。理事長をはじめ各役員や事務局の活動を身近に拝見致しまして、その大変な行動力と成果に感心させられてまいりました。

作田理事長にあえて続投をお願いしたのは、今、大変大事な時期だからであります。知財協として理事長が重任するということは、特異な例を除いて今までなかったそうではありますが、知財をめぐる環境が大きく変化し、アクションしなければならない協会の仕事がまだ沢山あるという認識で、大変お忙しいのですが、あえて重任をお願いしたということでございます。

今年の重点は、先ほど審議されたと思えますけれども、チャレンジする JIPA, 専門家集団としての JIPA, あるいは、世界の JIPA というスローガンで表されるとおり、いろいろな分野でいろいろな活動が期待されている状況でございます。19の委員会、12の政策プロジェクト、その中で、ボランティアに会員の皆様方が活躍し、成果を上げられてきたことに感謝申し上げますとともに、本年もこの三つのスローガンに向けてご活躍いただきますように、この席を借りましてお願いしたいと思います。

どうぞ本年度もよろしく願いたします。

ありがとうございました。